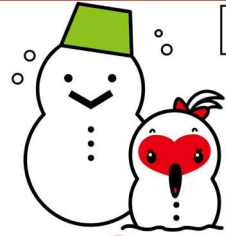
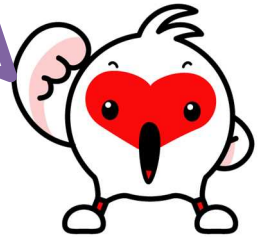


冬期は、 ノロウイルスに注意



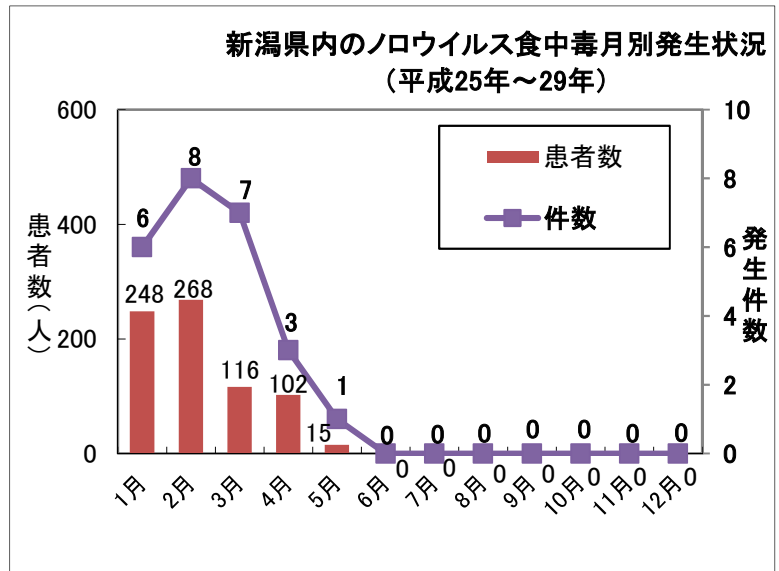
おう吐や下痢などの胃腸炎症状を起こすノロウイルスによる感染症や食中毒は、特に冬に流行します。

「ノロウイルス」の特徴 と予防ポイント！



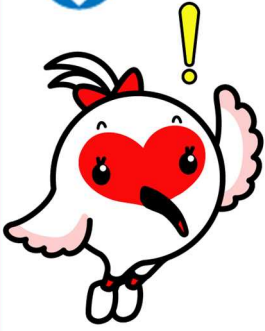
<ノロウイルスと食中毒の特徴>

- おう吐、下痢など、胃腸炎症状を発症
- 少量のウイルスで発症
- 感染調理者からの感染や、汚染された二枚貝等が原因



<予防ポイント>

つけない	持ち込まない	拡げない	やっつける
 2度洗いが有効！	 胃腸炎症状のある場合直接食品に触れない！	 手袋着用など、適切な汚物の処理 <small>※詳細は、ホームページをご覧ください。</small>	 中心部まで、十分に加熱！ (85～90℃、90秒間)



「ノロウイルス情報」を ホームページに掲載中

3月末まで隔週でホームページ「にいがた食の安全
インフォメーション」に掲載します。

ノロウイルス情報 第1号

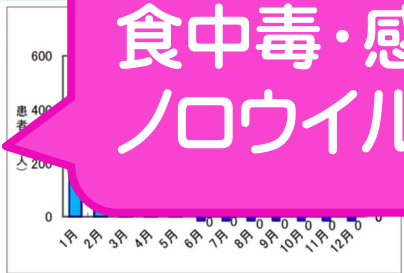
新潟県
平成30年11月13日
福祉保健部生活衛生課
健康対策課

冬から春にかけて、ノロウイルスによる感染症や食中毒が多発します。
新潟県では、本日から3月までの間、隔週で県内の感染性
をお知らせします。

ノロウイルスの特徴

- ノロウイルスは、ヒトに感染するとおう吐や下痢、腹痛などの胃腸炎症状を起こします。
- 手指や食品を介して口から入り、約1～2日後に胃腸炎症状を起こします。
- 症状が治まっても、1週間～1か月間程度、ウイルスが便とともに排泄されます。

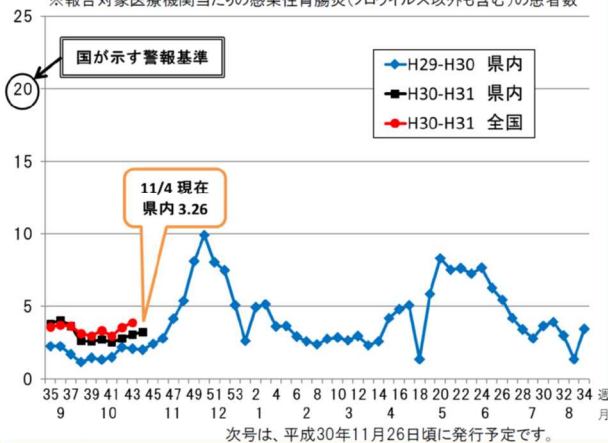
★ 感染者のおう吐物や便にはノロウイルスが大量に含まれ、手指等を介して感染が広がります。
手洗いや消毒を徹底して感染を予防しましょう！



食中毒・感染症予防対策、
ノロウイルスの特徴を掲載

感染性胃腸炎定点当たりの報告数※(感染症サーベイランス)

※報告対象医療機関当たりの感染性胃腸炎(ノロウイルス以外も含む)の患者数



<H30.10.29～11.4>

保健所ごとの報告数(定点当たり)

新潟市	4.0
新発田	6.0
新津	2.20
三条	2.20
長岡	3.63
魚沼	-
南魚沼	-
十日町	-
柏崎	0.67
糸魚川	2.50
村上	0.50
佐渡	3.00
上越	4.67

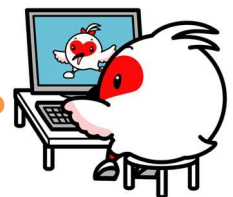
最新の
流行状況を掲載
・県全体(グラフ)
・地域別(数値)



詳しい予防のポイントは、新潟県ホームページ内「にいがた食の安全インフォメーション」で「にいがた食の安全」と検索(<http://www.fureaikan.net/syokuinfo>)から最新の「ノロウイルス情報」を掲載しましたからご覧いただけます。

<お問い合わせ> ◆生活衛生課 ☎025(280)5205 ◆健康対策課 ☎025(280)5206
もしくは 最寄りの地域振興局健康福祉(環境)部

流行する前に
準備するぞ！



ノロウイルス情報は、
ホームページ「にいがた食の安全インフォメーション」を御覧ください。

にいがた食の安全

検索